

～ Serving the Community and Supporting the Y.M.C.A since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ： *Connecting the Clubs (BF)*

2024年
11月



2024-25 年度クラブテーマ「市民と繋がろう・市民に知らせよう」

チャリティラン@航空公園・
クラブ11月例会@サポセン

11月4日コロナ後 久しぶりに所沢の航空公園でチャリティラン。その翌日は米国大統領選。次期大統領が決まり国際社会は仕切り直しの局面に突入。埼玉クラブでは久方ぶりの朗報！新会員入会式が実現。夜談会では珍しく地球環境問題を話し合ったが、日本では国民の共有すべき課題にまでなっていないようだ。今月のブリテンも月末発行です。



[写真メモ] 4日は所沢航空公園でチャリティ・ラン。埼玉クラブは上松・浅羽がウォーキングに挑戦。青少年やおしゃべり出来た。クラブがスポンサーしたたんぽぽチームが受賞。写真では顔を隠しているが子供達はたしかに笑顔だった。17日は初の試み「のんぼ」(のんびり散歩)。武蔵浦和駅 → 「花と緑の散歩道」 → 別所沼公園一周。偶然一緒に歩く他人同士が安心して話し合うようになる体験を試みたかった。埼玉クラブと「ぐーちょきぱーてい」が応援。

今月の聖句

「まことに、もう一度あなたがたに言います。あなたがたのうち二人が、どんなことでも地上で心をつにして祈るなら、天におられるわたしの父はそれをかなえてくださいます。」

(マタイによる福音書 18:19)

12月クリスマス例会

日時：12月16日(月) 10:00～12:00
会場：「き咲きてらす」(浦和区木崎3-6-6)

12月夜談会

日時：12月9日(月) 午後6時～8時
会場：サイゼリア(浦和駅東口)

- ・ 気楽に知り合い、笑いながら見識を深めるさばけた市民の出会いと集いの場(覗いてください)



◆◆◆ エッセイズ ◆◆◆

「キリスト教会に茶室があるの？」

伊藤澄夫

私が通う茶道教室とは違うが、茶の湯に興味のある方は、アーバンパーク・ライン東岩槻駅北口徒歩 10 分の「春日部福音自由教会・丘の上記念会堂」を訪れてもらいたい。開智学園が見渡せる高台の丘の斜面に建ち、白色の礼拝堂とホールが迎える。



薪ストーブのある待合室の頭上には、キリシタン禁制の触書高札「定」と諸外国の圧力で禁制を解いた明治政府の「太政官布告」1873（明治 6）年が掲げてあり、ほかの教会では見たことがないこの高札で、数百年間のあいだ迫害を受けてきた日本のキリスト教の歴史を窺える。ホール脇の階段を下ると、和室 20 数畳と 4 畳半があり、和室大広間は大人数の茶会などに使い、奥まった茶庭の奥にひっそりと茶室「在主庵」がある。例年チャリティ茶会があり、和室（四畳半）は茶の湯でいう小間で、灯籠・躰いが設えられ、手入れされた茶庭を庭師が足下に揃える藁草履に履き替えて躡り口から小間（在主庵）に入ると、いま教会にいるとはとても思えない。



高橋敏夫牧師が点てる濃茶の味わいを堪能し、正客が床の間の毛筆の掛け軸を尋ねると、「草が枯れ、花は散るが、主イエスのことばは永遠に続く」と、筆墨の行書でしたためられている。茶席の掛け軸は通常臨済宗の難解な禅語が多いだけに、素直で新鮮な印象を受ける。チャリティ茶会では、大日本茶道学会・江戸千家・裏千家・表千家が一堂に会して部屋ごとにそれぞれの作法でお点前を披露して来客をもてなす。席料の一部は社会福祉協議会へ寄付される。「在主庵」の高橋牧師はキリシタン大名高山右近、小西行長などの研究家で、春日部市民講座主催「キリスト教と茶道との歴史」を講演中。◆

「生かされている喜びと感謝」

上松寛茂

2024 年 10 月 24 日で 79 歳となった。すこぶる健康と言いたいが、聴力がジワリと衰えてきた。礼拝の説教は教会の補聴器がないと聞こえない。埼玉 YMCA の ZOOM による早天祈祷会でも補聴器を付けてやっと把握できる程度。家族に嫌がられながらもしつこく、何度も聞き返す日常である。



最近加齢現象は“老人力”と称される。幸いなことに認知症の気配はない。ただ人との会話のやり取りなどで名前や形容を表現する的確な言葉が出てこない。老人力が増しているということか。

かつての「人生 80 年時代」も今や「90 年時代」が普通になりつつある。一方自分より若い知人、友人の訃報もよく耳にする。

旧約聖書コヘレトの言葉 3 章に「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。生まれる時、死ぬ時……。神はすべてを時宜にかなうように造り、また永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお神のなさる業を始めから終わりまで見極めることは許されていない」とある。永遠の別離の悲しみの中では納得できる言葉ではないが、人の命は有限。80 代を目前に、自分はいつまで生きられるのだろうか。ふと、考え込む時が度々。ワイズメン、メネットも高齢化時代を象徴している。



関田教授と東山荘新本館の前で 2016 年 9 月

我が生涯の恩師だった故関田寛雄青山学院大学名誉教授は 2 年前の 12 月に 95 歳で召された。神学者であり、牧師であり、教師であり、多くの学生や差別を受けた在日の韓国朝鮮の人々、信徒たちから敬愛されていた。埼玉 Ys のプリテンにも恩師について 5 回にわたり連載した。亡くなる 1 カ月前の“最期の会合”“でいただいた“遺言”「課題をもって生きる」をかみしめ、生かされている喜びと感謝を自覚する日々である。◆

活動・会議メモ

◆ 11月「夜談会」

今月 11 日に浦和駅東口「サイゼリア」にて夜談会を開催。常連に加えて大学生の金子誠さん今回初参加。平均年齢は確かに下がったものの、むしろ己の齢を感じた人もいたかもしれない。今回は「外国人から見た日本・日本人」を仮テーマに据えたが、意外にも話はほぼ地球環境問題に終始した。ごみ問題、使い捨て注射器、田んぼや温室効果ガスなど。話題の牽引役を務めてくださった工藤さんは環境問題に現場で取り組んでおられ、それだけに説得力あり。撮影前に退席されたので、写真は今年 3 月の夜談会の写真を転載。なお日本人論は改めて夜談会で取り上げたい。(浅羽)



左から浅羽妻 上松 浅羽夫 金子 浅香 高岡、離れて工藤

◆ 11月「もみじ」例会

今月 16 日(土)にパルコ 9 階のサポートセンターで開催された例会は特に嬉しい例会だった。公式訪問された関東東部部長の山本剛史郎メンの立ち会いのもと、高岡敏夫氏の当クラブ入会の式典を盛大に(但し小声で)執り行なった。式後は山本部長の卓話。立教大学とユニークなキリスト教学科のこと、人生観を変えさせたフィリピンワークキャンプ体験。さらに勤務先の川越キングスガーデンが 5 年



浅羽、上松、山本、高岡、衣笠、伊藤、水無瀬

前の大洪水時に過去の教訓を活かした職員たちのチームワークで難局を乗り切った話、とアツという間に閉会の時を迎えた。水無瀬メンは ZOOM で参加し、はがメンも別の会合から顔を出して挨拶。全体写真はサポセンのやさしいスタッフに撮ってもらった。

自己紹介

高岡敏夫

私の父は建築設計を職業としていました。終戦で埼玉県庁に入り土木部建築課に勤めていましたが、昭和 30 年県庁を退職し建築設計事務所を開設しました、

私は、中学 3 年生の頃からの将来、建築設計の仕事に就きたいと考えるようになり、昭和 34 年工学院大学建築学科に入学し卒業と同時に、民間設計事務所に 7 年間勤めた後、父の事務所に入りました、仕事は主に、県と市町村の仕事が 7 割程度、民間が 3 割程度

でした。ところが昭和 51 年父が他界し、代表取締役となり事務所を引き継ぎ 47 年間仕事をしてきました、昨年 6 月息子に譲り退職し、現在は、社交ダンス、長唄また、ライブを聴きに行くのを趣味に、また毎週土曜日には田んぼに行き米作りに励み、楽しく毎日を過ごしています。よろしくお願ひします。

[浅羽メンの話]

高岡敏夫メンとの出会いは市民田んぼで。いつも上品で笑顔で絶やさず皆んなと一緒に作業しています。「き咲きてらす」2 階改築の相談で家まで来ていただき、こちらから事務所を伺ったときは色々話をしました。夜談会に数回参加され、当クラブ入会となりました。心強い仲間ができました。うれしいです。



見沼田んぼで(左端)

YMCA World News

* 今月の YMCA ニュースは 4 日に開催された埼玉 YMCA チャリティランの報告が届いたのでそれを掲載します。

チャリティーラン お礼と報告

坂室由美子(川越 YMCA 職員)

事前の天気予報を見ながらみんなでお天気への心配をしていましたが、記念すべき第 25 回目当日(11 月 4 日)は、すっきりとした快晴の下、開催することができました。今回も埼玉ワイズの皆さま方のご支援を頂き、浦和センターからの移行メンバーが多い川越センターの「たんぼぼ」グループが参加させていただきました。たんぼぼの子どもたちはダウン症のお子さんが多く、知的にも運動面でものんびり

さんのグループです。

ある高校3年生男子は、2年前に参加した際、走るルートから逸れて不安になって泣いてしまいましたが、今回も参加してくれました。彼は「前、泣いちゃったからな〜」と恥ずかしそうに当時を振り返ってから「次は迷ったら誰かに聞くよ（助けてもらうよ）」と話しておりました。それを聞いた私は、起こってしまったことを糧に成長しているなあ、大人に近づいているなあ、とぐっと感じ入ってしまいました。「埼玉ワイズの皆さんからの支援で、みんな参加できたんだよ」とメンバーに話すと「そうだったんだ」と、当日会場に来ておられた浅羽さんと上松さんにお礼を言っていましたことを最後に申し伝えたいと思います。いつも私たちをお支え下さり、本当にありがとうございました。これからも子供達、チャリでイランのよろしくお祈りします。

*表紙写真で「たんぽぽ」看板を持っているのがスタッフの坂室さん

シンスハウス」で「ふるさと」を歌って解散したときは異口同音「良かった」と言ってくれました。



花とみどりの散歩道



別所沼



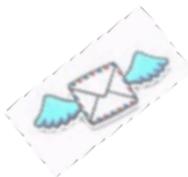
「ふるさと」斉唱



ヒヤシンスハウス前でセルフイ



仲間のお便り



◆ 11月の俳句 塀和光二郎メン (俳号 愚道)

俳句雑感

私の下手な俳句を毎掲載させていただいておりますが、私は毎月10句俳句をあるところに投句しております。毎月季題に困った挙句にその月を1句は季題としております。今月ならば11月



11月の公園清掃竹ぼうき

皆様にとって11月のイメージやできごとって何かな?以前ある句会に投句したところ

10月の銚子電鉄岬まで

富士真奈美さんという俳優さんが佳作にいただきました。何気なく過ぎてしまう月を味わう良い機会となっております。

◆ 浅羽俊一郎メン

「き咲きてらす」はワイズや地元の人たちに助けられて3年経ちました。中でも居場所づくりを進める地域活動家の集まり「ぐーちょきぱーてい」の皆さんに励まされました。数年前から案を練っていた「誰でもパレード」は彼らからのいくつものきつい助言で参加しやすいイメージの「のんぼ」(のんびり散歩)としてついに実現しました。(表紙写真参照) 少人数でも参加した方々は、別所沼公園「ヒヤ

◆ 今後の予定

* 川越クラブ 25周年記念例会

12月1日(日) 16:00~18:30 @「エルミタージュ」

* 現役で仕事をしているメンバーと暗くなってからの外出を控えたいメンバーが同居する埼玉クラブだが、少人数であれば皆の都合に合わせられる。ということで来月の月例会は16日月曜日午前10時となった。

都合悪いというメンバーがまた出てくるかもしれないが、メンバーが自分の優先したいことが叶うクラブでいいと思います。集まって話し合い、活動して、付き合いを深めましょう。教会より教会らしく。

再来年のクラブ50周年を一緒に迎えましょう。

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
夜談会 (11/11)	7	2	5
月例会 (11/16)	8	7	1

ワイズメンズクラブ 紹介

ワイズメンズクラブ国際協会(Y's Men International)は国際的青少年教育団体YMCAを支える社会人のクラブの集まり。若者と地域への奉仕を目的に、政治信条・性別・肩書き・年齢を問わず国内外の交流を進めています。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。奉仕の心と責任感のある方は年齢・性別に関係なく募集しています。宗教団体・利益団体ではありません。(年会費:40,000円) 詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553)

Y's Men International 東日本区の URL は <https://ys-east.or.jp/#gsc.tab=0>